

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 上三川町こども発達支援センターおひさまの家
児童発達支援みつばち

公表日 令和8年 3月 31日

利用児童数 19名

回収数 17名

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16	0	0	1	・のびのびと活動出来ている。	園庭がないため外遊び等の提供がなかなかできないが、室内でも楽しく過ごせる工夫をしています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	15	0	0	2	・自分の子どものクラス以外を知らないの で。 ・手厚いと思う。	今後も、適切な職員配置をしていきたいと思っています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16	1	0	0	・分かりやすいと思う。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	16	0	0	0	・回答なし 1名 ・いつもきれい。夕方、お掃除してくださっている。	
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	17	0	0	0	・十分配慮して頂いている。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	17	0	0	0	・分かりやすく逸したプログラムと思う。	
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	17	0	0	0	・しっかりと計画作成され、行われている。	
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	17	0	0	0	・適切に行われている。	
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	17	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12	3	0	2	・まだ利用してからそれほど時間がたっていないので分からない。 ・固定化されていても良いと思う。安心感がある。	お子さまが安心して、楽しく活動に参加しながら、様々な経験を積んでいけるように今後も工夫してまいります。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	13	2	0	2	・交流が増えてありがたい。	
保 護 者	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16	1	0	0	・丁寧に、しっかり時間を取っていただいた。	
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	17	0	0	0	・適切だった。	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	17	0	0	0	・参加出来る時は参加したい。	ご家族にとって意義のある研修の開催を今後も検討していきます。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	17	0	0	0	・毎回の活動報告（様子）はありがたいです。 ・まめに情報共有はできていると思う。	保護者のみなさまには、お時間を毎回つくって頂きお手数をおかけいたしますが、今後ともご協力をよろしくお願ひ致します。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16	0	0	1	・こちらの話をよく聞いて頂いて助言をもらっている。	

への説明等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15	1	0	1	・とても思う。ありがとうございます。	保護者のみなさまが安心して職員にお話し頂けるように、これからも誠意をもって対応してまいります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	13	1	0	3	・兄弟のことも気にかけて下さり、声を掛けてくださることが多い。	土曜日の行事や、お子さまのお迎え時にごきょうだいが来所されることはありますが、交流の場は設けることができていませんでした。今後検討していきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16	1	0	0	・迅速に対応して頂いた。	
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17	0	0	0	・とても思う。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	17	0	0	0	・通信はいつも楽しみ。	普段の活動の様子等、できるだけ多くの写真を掲載できるようにしていきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	17	0	0	0	・適切だと思う。	鍵付きの書庫で保管しております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14	1	0	2	・よく避難訓練など行われていて、イレギュラーなことへの練習が多く、良いと思う。	緊急時のマニュアルについては職員研修で確認をしています。今年度は定められている避難場所へ保護者さまに迎えに来ていただく等ご協力ありがとうございました。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	16	0	0	1	・よく行われていて良いと思う。	避難訓練を毎月行っております。今後も、おひさま通信等でご報告させていただきます。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16	0	0	1	・安全と思う。	安全計画の策定をしております。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15	1	0	1	・そう思う。そもそも事故があまりおこらないようにやっけてくださっている。	ケガ等が起こらないように、十分に気を付けていきます。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	17	0	0	0	・楽しみにしている。	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	14	2	1	0	・前日からとても楽しみにしています。 ・少し慣れてきたものの、まだ楽しさまでは感じていないようです。 ・とても楽しみにしている（特に集団療育）。	少し難しさや苦手を感じる活動もあるかもしれませんが、チャレンジする中で達成感を味わい、「楽しかった」と感じてお帰りいただけるよう活動プログラムを工夫してまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	17	0	0	0	・とても満足している。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	上三川町こども発達支援センター おひさまの家 児童発達支援 みつばち		公表日		令和8年 3月 31日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	1	専門的支援実施の際は部屋割りが大変だと感じることもあった。特別プログラム(リトミック)では活動内容に対して狭さを感じた。事業所全体で調整し部屋の確保を行った。	限られたスペースの中でも適切に取り組めるようにプログラム内容や利用人数を時間差で調整するなどの対応を引き続き行う。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	1	基準の配置は満たしているが、個別に関わりが必要な場面もあり、児発管も含め他事業の職員も入ることで対応してきた。	同施設内の他事業の職員にも緊急的に手伝いが必要な場面では、声かけをしながら、施設全体で取り組めるようにしていく。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	2		玄関はバリアフリー化されていない。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		毎日の掃除を(消毒)を実施し、清潔を意識している。テーブルの配置等動線を考えて配置している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		クールダウンが必要な際は別室を利用できるようにしている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5		活動終了後には毎回反省評価を実施し、次回の活動プログラムの立案に役立っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		支援会議で意見を伝えることができる。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	1	実習生の受け入れや、関係機関の施設見学等を実施した。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5			

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	1		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5			
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	1	4		他地域の支援センター開催の研修に参加している。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		5		行事の実施などはできていない。地域の公園の利用等は行っている。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	1		研修会の開催が年1回となってしまった。家族にとって意義のある研修会について検討していきたい。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	2		土曜日の親子療育を開催し、きょうだいの参加も受け入れて交流する機会を設けたが、今後はきょうだい同士が交流できるような行事の企画をしていきたい。
	40	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	3		施設開放はできていない。法人と相談しながら進めていきたい。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5				
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5				

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	上三川町子ども発達支援センターおひさまの家 児童発達支援みつばち		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 10日		～ 2026年 2月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24名	(回答者数) 16名
○従業者評価実施期間	2026年 3月 2日		～ 2026年 3月 6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月16日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちが安心して活動に参加できる環境を整え、小集団での療育を通して一人ひとりの特性を丁寧に把握し、それに応じた活動プログラムを計画・実施しています。	毎週の支援会議において活動プログラムの見直しを行うとともに、日々の子どもの様子を毎日の反省評価で振り返っています。	子ども一人ひとりの特性や発達段階に応じた支援の質をさらに高めるため、職員研修の充実を図る体制づくりを取り組んでいきたい。
2	小集団療育と個別療育の提供を柔軟に行っている。	個別療育時間は保護者や子どもひとり一人のニーズに合わせて調整している。	保護者の就労状況等により来所手段の確保が難しい場合があり、送迎などの対応については今後の課題となっています。
3	丁寧な報告や定期的な面談を通して保護者の思いや子どもの状況を的確に把握し、子どもの発達段階や特性に応じた支援計画を作成し支援を提供している。	保護者のご協力のもと、説明の時間に合わせてご来所いただき、療育終了後にはお子さまの活動中の様子を丁寧にお伝えしています。	現在はテラスにて説明を行っていますが、今後は室内の環境や療育の様子をご覧いただける機会についても、定期的に設けられるよう検討してまいります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ICTの活用が十分に進んでいない。	ホームページへの活動の様子の掲載は、プライバシーに配慮して行っているものの、機器の整備などハード面に加え、ICTを管理・運用できる体制が十分に整っていないため、導入に向けた具体的な取り組みに至っていない。	活動の様子については、保護者に掲載の可否を確認しながら丁寧に対応していく。また、行事のお知らせや出欠確認については現状の紙ベースでの対応を継続しつつ、情報共有の遅れが生じないように工夫していく。
2	保護者交流やきょうだい同士の交流の機会がない。	親子行事などの機会を活用する余地はあったものの、きょうだい交流の場を十分に計画・工夫しきれなかった。	保護者やきょうだい同士の交流の場が持てるように、家族で参加できる行事の開催なども検討していきたい。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	上三川町こども発達支援センターおひさまの家 放課後等デイサービス たんぼぼ
------	--

公表日 令和8年3月31日

利用児童数 配布数 28名

回収数 23名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	17	4	0	2	・活動のスペースは十分に確保されていると思います。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	18	3	0	2	・たんぼぼになってから、なかなか活動を見る機会がないため、何人の職員の方が一緒に活動されているのか承知しておりません。	保護者参観なども今後は検討していきたいと思います。また、年度初めおひさま通信などで職員紹介等で皆様にごあいさつさせていただきたいと思います。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	19	2	0	1	・回答なし 1名	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	21	0	0	2	・清潔にされていると思います。	
適切 な支 援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	20	1	0	1	・回答なし 1名 ・子どもに合わせて対応してくれていると思います。	今後も、支援スキルの向上に努めてまいります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	23	0	0	0		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	23	0	0	0	・子どもの特性等に応じた支援計画が作成されていると思います。	お子さまの成長を客観的な視点をもって今後も支援計画の作成をしていきたいと思えます。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	20	2	0	1		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	22	1	0	0	・計画に沿った支援になっていると思いますが、よくわかりません。	活動の様子と併せてお伝えできるようにしたいと思います。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	22	1	0	0		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	12	3	2	6	・とても難しいことだと思います。周りの理解もないとできないのでは？ ・あまりないように感じます。	近隣の公園や公共施設等での場の共有や、遊具の順番待ちなど、日常の場面での交流は心掛けておりますか、交流会などの開催には至っていないのが現状です。
保 護 者	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	19	2	1	1		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	22	0	0	1	・支援内容の説明はされています。	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	18	3	0	2		ペアレントトレーニングの開催はできていません。活動後に保護者様にはおこさまの様子や職員の関わりについてお話をさせていただきます。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	20	3	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	22	1	0	0		

への説明等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	21	2	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	11	5	1	6	・保護者会は開催されているが、きょうだい同士の交流の機会がないので、みんなに参加できるイベントが出来ればいいと思う。 ・保護者同士の交流の場はあるように感じますが、きょうだい同士の交流は把握していない為。	施設全体で交流ができるようなイベントの計画を検討していきたいと思います。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	19	3	0	1		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	21	2	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	17	3	0	3		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	22	1	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	20	1	0	2	・繰り返しの訓練により、身につけていると感じます。(特に災害時)	年に2回の法定訓練のほかに、毎月の訓練を行っております。今後も訓練の様子等はおひさま通信等で周知してまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	23	0	0	0		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	22	0	0	1		
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	21	0	0	2		緊急時のフローチャートについては、職員研修にて定期的に確認をして、今後も、緊急時には迅速に対応できるよう訓練を重ねてまいります。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	22	0	0	1		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	16	6	0	1		お子さまが楽しく活動に取り組み達成感をもって1日を過ごしていけるよう、今後も職員一同努力してまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	22	1	0	0		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		上三川町こども発達支援センターおひさまの家 放課後等デイサービス たんぼぼ				公表日	令和8年 3月 31日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	2	長期休み中など、長時間利用の際は、メリハリをつけられるよう、部屋の割り振りをし、落ち着いて過ごせるように工夫している。	専門的支援実施の際のスペースが足りないと感じることがある。 時間の調整をしていく必要がある。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	2		玄関の段差が大きく、注意が必要。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	1	実習生の受け入れ、施設見学等を行った。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0			
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0			

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	0		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	0		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0	6	他地域の児童発達支援センター開催の研修会に参加しています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	6		交流会などの機会は作れなかった。地域の公共施設を利用してなるべく地域の他のこどもたちと交流する機会を設けていきたいとおもう。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	0	法人連絡会の参加をし、地域の他事業所の方との情報共有を行っている。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	6		研修会の開催ができなかった。家族からの相談には個別に対応するなどした。保護者にとって有益な情報提供を行えるようにしていきたい。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0		

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	5		保護者交流会の開催はできなかった。施設全体での交流会などの開催を検討していきたい。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	6		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6	0		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	3		対象の児童はいなかった。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	1	支援会議の場で事例検討等を行い、支援方法について検討を重ねている。	ヒヤリハット事例集の作成等を行い、文書として残し、振り返りをできるようにしていきたいと思う。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	年に3回の研修を行っています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0			

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	上三川町子ども発達支援センターおひさまの家 放課後等デイサービスたんぼぼ		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 10日		2026年 2月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28名	(回答者数) 23名
○従業者評価実施期間	2026年 3月 2日		2026年 3月 6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 16日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども同士がお互いを意識しあえるような室内レクリエーションと多様な活動プログラムの提供をしています。	一人ひとりの個性や発達段階を尊重しながら、子どもたちが自然に関わり合い、互いに刺激を受けながら成長できる環境づくりを心がけています。活動においても、子ども同士が協力したり、気持ちを伝え合ったりできるような場面を持てるように設定しています。	子どもたちが一緒に活動する中でも安心して気持ちを整えられる落ち着いたためのスペースを設け、利用できるようにしています。子どもたちが自分のペースで他者との関わりに向かっていけるよう支援を継続していきたいと思っています。
2	保護者との丁寧な面談を通して継続的に情報共有を行い、子ども一人ひとりに合った支援の方向性を共に検討しています。	面談では、事業所での様子だけでなくご家庭や学校での様子、保護者の思いを大切にしながら双方の情報をもとに支援の一貫性が保たれるよう意識しながら、時間をかけて丁寧にお話しをしています。	今後も、保護者が安心して思いを伝えられるような話しやすい雰囲気づくりを大切にする。また子ども一人ひとりの思いも受け止めながら、より適切で質の高い支援につなげていきたいと考えています。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ICTの活用が十分に進んでいない。	機器整備などのハード面の課題に加え、ICTを管理・運用できる体制が十分に整っていないことから、導入に向けた具体的な着手に至っていない。	現状では紙ベースでの対応となるが、タイムリーな配布や周知方法の工夫により、情報共有の遅れが生じないよう対応していく。
2	屋外運動スペースがない。	高学年の利用者が増える中で、運動スペースが不足する可能性がある。結果として運動量が減る懸念がある。	同じ法人の他施設の屋外スペースを活用していけるようにする。
3			

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名	上三川町こども発達支援センターおひさまの家 保育所等訪問支援 ひなげし
------	--

令和8年 3月 31

公表日 日

利用児童数 配布数 21名

回収数 17名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	8			9	・確認したことがないため ・わからないだけで不満はないです。	訪問時にごちらから教具を使うことはありませんでした。訪問先の環境や教材を活かし、その場に応じた支援を行っております。
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	16			1		訪問時のご報告は相談室で行っております。
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	16			1		事業の目的や支援内容について、より分かりやすく具体的に伝えられるよう努めてまいります。
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	17					
適切な 支援の 提供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。	16	1				
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思えますか。	17					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思えますか。	17					
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思えますか。	16			1		訪問先施設の先生方とカンファレンスを実施し、お子さまの成長や変化についても共有・検討を重ね、内容に反映しています。
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思えますか。	16			1		
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思えますか。	17					
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思えますか。	16			1		訪問の際は事前の連絡調整を児発管を中心にしております。また、訪問時は集団生活の場での周囲のお子さまたちにも配慮を心がけております。
保護者 への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	17					
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	17					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	16			1		
	15 必要などきにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態、課題について共通理解ができていていると思えますか。	17					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16			1		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思えますか。	17					
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	17					
19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思えますか。	17						
20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思えますか。	17					・保育園担当の先生からやりとりを聞いており、安心できている。	

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	17				
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	17				
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	15			2	
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16			1	
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	15			2	
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17				
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	17				
	28	事業所の支援に満足していますか。	17				

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

上三川町子ども発達支援センターおひさまの家
保育所等訪問支援 ひなげし

公表日

令和8年 3月 31日

訪問先施設

数 9施設

回収数 8施設

チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1 訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	7	1		<ul style="list-style-type: none"> ・指導方法についてわかりやすく説明していただきました。 ・関わりに悩む点を相談させていただくと、今の姿に合わせた返答をくださりありがたかったです。 ・子どもの姿や場面に合わせた具体的な助言をいただき、日々の保育の中で実践しやすい内容で、大変参考になっています。 	今後子ども一人ひとりの姿や発達を踏まえた助言ができるよう努めてまいります。
2 訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	7	1		<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな視点から助言していただき助かりました。 ・トレーニングの様子も見学させていただき、大変参考になりました。 ・個々に合わせた声掛け等、とても参考になっています。 ・専門的な視点から助言をいただき、支援の幅が広がっています。 	多角的な視点から子どもの姿を捉え、具体的にお伝えできるように今後も専門性を高めていくよう努めてまいります。
3 訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれますか。	8			<ul style="list-style-type: none"> ・1つ1つの質問に親身になって答えてくださいました。 ・保育所等訪問で来校していただいた折りにいろいろと教えていただきありがとうございました。 ・園での様子を伝えると、とても分かりやすく、その時の援助を教えてくださいました。 ・その都度、丁寧に对应していただき、迅速に助言をいただけるため、心強く感じています。 	訪問の機会を調整していただいているおかげで、実際の場面を踏まえたアセスメントをお伝えすることができております。
4 保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	6	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・指導に対する悩み事を共有できただけでも励みになりました。 ・児童への指導において、目標を考える際、情報をいただけたことで、適する内容を考える事ができました。 ・次回の対応に活かしたいと思います。 ・支援を通して子どもへの関わりを見直す機会となり、課題への対応方法が明確になり、困り感の軽減につながっています。 	困りごとについては、すぐに解決につながるものばかりではなかったかもしれませんが、今後も園や学校での集団活動の場を大切に、安心して活動できるよう、具体的にお伝えしながら一緒に考えていけるよう努めてまいります。
5 事業所からの支援に満足していますか。	7	1		<ul style="list-style-type: none"> ・学校と連携しながら活動していただきありがたかったです。 ・集団生活の場ということを含えた関わり方も合わせて教えていただけると助かります。 ・継続的に丁寧な支援をしていただき感謝しております。 	今後も園や学校での様子を共有していただきながら、引き続き連携を大切に、子どもたちへのより良い支援につなげてまいりたいと考えております。
その他のご意見	ご意見を踏まえた対応				
<ul style="list-style-type: none"> ・加配保育士が日々悩みながら子どもと向き合っている中、寄り添うような助言をたくさんいただき本当にありがとうございました。今後もどうぞよろしくお願ひ致します。 ・お忙しい中、いつも足を運んでいただき、ありがとうございました。今後ともよろしくお願ひいたします。 	先生方には、日々子どもたちと向き合っている中で、お忙しいところ貴重なお時間をいただき、心より感謝申し上げます。対象となる子どもたちにとって、より良い集団生活の場となるよう、職員一同、日々課題に向き合いながら取り組んでまいりたいと考えております。				

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		上三川町子ども発達支援センターおひさまの家 保育所等訪問支援 ひなげし				公表日	令和8年 3月 31日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
環境・ 体制・ 整備・ 運営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	4				
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	1	利用希望者に対して、訪問日の調整が追いつかず、ニーズに応えきれていない。	連絡調整を適宜行い、日程調整をしていく。	
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4				
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	1	評価表の結果については職員会議で共有している。		
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	1			
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	2		機関や保護者からの意見等を基に、客観的な評価を受ける仕組みづくりを進めていきたい。	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	1		他地域の保育所等訪問支援事業所と情報共有を行う機会があったが、今後は外部の研修も含め検討していきたい。	
適切な 支援の 提供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	3	1			
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4				
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	4				
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4				
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	2			
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	4				
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4				
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4				
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	4				
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	4				
19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4					

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4			
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4			
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4			
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	3	1		
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	2	2		
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	4			
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	2		
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4			
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	4			
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4			
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	4			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	4			
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		4		施設全体での行事等を今後は検討していきたい。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4			
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	1	3		施設でのお知らせを発行しているため、今後は保育所等訪問支援事業についての情報も発信していきたい。
訪問先施設への説明等	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4			
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3	1		理解を助ける工夫を心掛けているが、電話でのやり取りでは表情や口調などから伝わりにくいことがあるかもしれない。情報伝達の工夫を進める。
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	4			
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	4			
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	4			
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4			

非常時等の対応	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	4			
	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	2		
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4			
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3	1		
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4			
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4			

公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	上三川町子ども発達支援センターおひさまの家 保育所等訪問ひなげし		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 10日		2026年 2月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 21名	(回答者数)	17名
○従業者評価実施期間	2026年 3月 2日		2026年 3月 6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 3名	(回答者数)	3名
○訪問先施設評価実施期間	2026年 2月 10日		2026年 3月 6日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数) 9施設	(回答数)	8施設
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 16日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	訪問支援員に心理担当職員、障害児支援業務従事5年以上、10年以上の職員が訪問している。子どもの様子を複数の視点からみて分析し、訪問先施設と支援方法を検討している。	集団生活の場であることを意識し、お友達と一緒に遊んだり会話をするもありますが、周囲の子どもたちや集団全体に配慮しながら関わるよう心がけています。	研修を重ね、支援に対する新たな視点や気づきを得られるよう努めていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問支援員の他事業との兼務により訪問日が限られており予定変更などのニーズに応えきれない。保護者のニーズに応じたタイムリーな支援ができない場合がある。	訪問支援員の人数が限られている。	可能な限り訪問時間を柔軟に設定し、午前・午後に分けた訪問などを行いながら、保護者のニーズに応じたきめ細やかな訪問計画の立案・実施に努めていきます。